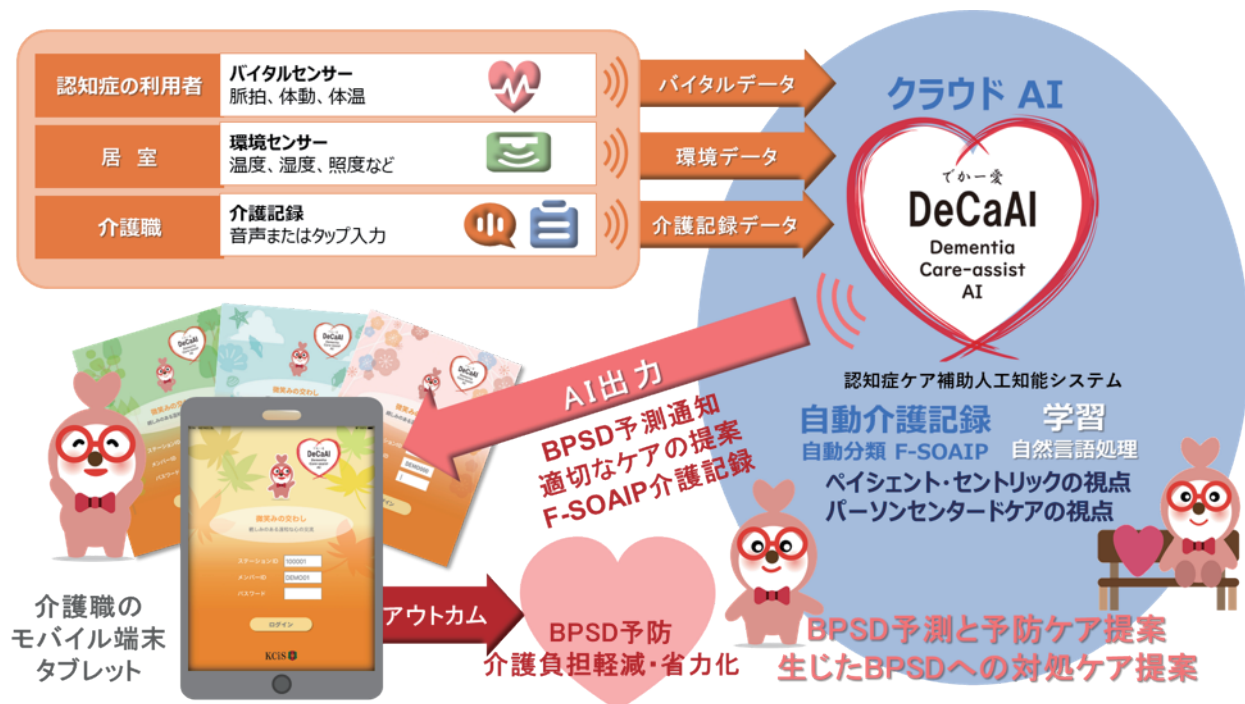




認知症ケアを楽しく学びながら覚えられる

(認知症ケア補助人工知能システム)

DeCaAI : Dementia Care-assist Artificial Intelligence



- ・ iPhone、iPad を使い、BPSD を予測し適切な対応ができる。
- ・ 認知症に対する正しいケア方法を会話方式で学べる。
- ・ 音声入力ですぐに自動的にケア記録が可能。
- ・ 情報共有も簡潔にできるので、業務、介護負担を軽減！

DeCaAI のおすすめポイント

Relief01/BPSD 発生を予測

人工知能が BPSD 発生を予測
BPSD 発生の 30 分先と 60 分先に
予測通知を iPhone や iPad へ通知
事前にアプローチをすることで、
BPSD の発生を抑えます。

Relief02/ 適切なケアの導出

蓄積された介護記録や、BPSD の
専門家が集めたデータに基づいた
日常的な対処法を導出
AI との対話で PDCA サイクルにより
適宜適切なケアを導出

Relief03/ 音声入力による簡単な介護記録

紙に書いたりパソコン入力など
しなくても、iPhone や iPad に
話しかけるだけで入力が完了
話した言葉は自動で言語解析され
介護記録に変換

Relief04/ 薬剤管理がとても簡単

お薬の情報（効用や注意点）や服用履歴
の管理が簡単
ジェネリックや新しい医薬品にも対応
誤薬などのヒューマンエラーを減らし
医療連携も可能

Relief01/BPSD 発生を予測

BPSD19 種類・2 時間帯毎に発生有無を求める 30 個のアルゴリズムを構築

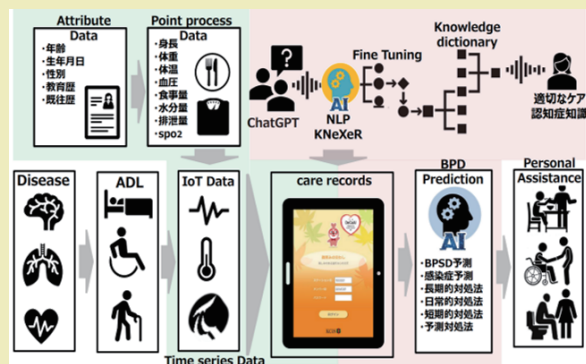
- ・人工知能で 30 分先と 60 分先の 19 種類 BPSD 発生を予測
- ・30 分後の適合率は平均 79.8%再現率は 84.5%
- ・60 分後の適合率は平均 83.2%再現率は 92.0%を達成
- ・BPSD 発生の予測通知をタブレットやスマホから音声通知
- ・介護記録に (F)Focus Data：着眼点として自動的に記録



Relief02/ 適切なケアの導出

対話型構造化知識プロトタイプで BPSD に対する適切な予防ケアを導出

- ・介護記録 (F)Focus と (o)objective Data に記録
- ・BPSD への対処を介護の専門家より集められたデータから「タイプ別」および「BPSD 発生の種類」ごとに策定を行うことで、日常的な対処 (対人援助方法や対処法) を導出
- ・AI との連携による「予測結果を基にした対処」を行い、その後「結果を評価する」ことで BPSD を予防
- ・PDCA サイクルで AI と対話しつつ適宜・適切なケアを導出



Relief03/ 音声入力による簡単な介護記録

Siri から chatGPT で言語解析に特化した人工知能のチャットボットを構築

- ・Google BERT により長くて複雑な文章 (文脈) を理解
- ・介護記録においては、同じ単語が、別の文脈で、別の意味になるが、その状態でも文脈から適切に検索意図を理解
- ・音声入力で、話した言葉を言語解析して自動的に F-SOAIP 介護記録に変換、紙に書いたりパソコンで入力をしなくてもタブレットやスマホに話しかけるだけで、入力が完了
- ・介護記録分類の正解率は 94.2%音声入力機能が性能向上に寄与



Relief04/ 薬剤管理がとても簡単

薬剤名・薬剤コード・形状・規格単位・服用方法・服薬開始日・服薬終了日の必要事項を入力・整理・管理・編集も簡単

- ・薬の管理や服用のサポートを一元化
- ・薬の情報や服用履歴の管理が容易
- ・ジェネリックや新しい医薬品に対応ヒューマンエラーを防いで医療連携が容易
- ・薬剤名・薬剤コードを入力し「検索」ボタンを押すと該当する薬が自動表示



Relief05/ データの可視化・検索・分析が容易

DeCaAI は、大量のケア情報を確実に収集・統合し、迅速に活用できるようにデータの見える化を実現

- ・ケア記録情報や生体データは圧縮して長期間蓄積
- ・データの精度を損なうことなく、数年前のデータを即時に参照してプロセス解析に使用し、業務を効率化
- ・業務内容 (BPSD 対応・直接介護・間接介護等) や対人援助に応じて、データの可視化や、数値化が可能
- ・介護スタッフ自身によつての独自管理や分析が可能
- ・適切なケア情報を把握し統合化するので人材不足を解消
- ・チームケア加算の要件に対応

